

# 記入例

## 「みちるべ」 単元プランシートⅡ

指導者名【 】

### 第3学年 領域「読むこと」(教材名「ちいちゃんのかげおくり」)

#### 育成したい資質・能力

- ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 Cオ
- 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。 Cエ
- 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。(1)オ

#### 単元名 「物語の感想を短い言葉にまとめて交流しよう。」

言語活動  
物語の感想を『○○な物語』というキャッチコピーに表し、その理由を友達に伝える。

「考えの形成」の内容				取り上げる語句		
物語の感想を「○○な物語」というキャッチコピーとして表し、その理由を書く。				<ul style="list-style-type: none"> <li>感想を表すための語句</li> <li>登場人物の心情や場面の様子を具体的に考えるために着目したい語句 「つぶやく」「きき返す」「説明する」などの似ている動作を表すが、意味が異なる語句 など</li> </ul>		
次	時	学習のねらい	学習活動	具体的な手立て	語彙	考え
1	1	単元の目標を知り、初発の感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>P11の扉のページを確認し、全文を通読し、初発の感想を書く。</li> <li>感想を表すための語句を知り、語句の量を増す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初発の感想に書くことが明確となるように、「心に残ったこと」「読んで考えたこと」「分からなかったこと」の観点を示す。</li> <li>感想を表すための語句を知り、語句を増やすことができるように、意味ごとに整理した語句のリストを配付する。</li> </ul>	○	
	2	初発の感想を交流し、これまでの学習を基に学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>初発の感想を交流する。</li> <li>指導者が作成したキャッチコピーの例を見て、学習の見通しをもつ。</li> <li>既習事項を振り返り、学習計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者が作成したキャッチコピーの例を見せ、児童が単元のゴールを具体的にイメージできるようにする。</li> <li>「きつつきの商売」「まいごのかぎ」の学習内容をまとめたものを提示し、学習の進め方を考えられるようにする。</li> </ul>		
2	3	登場人物の心情や場面の様子を具体的に考えるための語句を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「言う」に置き換えられる語句に着目し、登場人物の心情や場面の様子を想像する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「つぶやく」「きき返す」などの該当箇所を「言う」に置き換えて範読し、取り上げる語句について着目できるようにする。</li> </ul>	○	
	4 5	語句や叙述に着目して、自分なりに物語を読み進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一～三場面までの出来事や登場人物の心情を想像しながら読む。</li> <li>※場面ごとに心に残った部分と感想を書きためておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉に着目する観点として、よく出てくる言葉やその場面を象徴する言葉を示し、児童がどの言葉に着目するのか考えられるようにする。</li> </ul>		○
	6	場面と場面を比べて人物の様子や出来事の違について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一場面と第四場面のかげおくりを比べ、共通点や相違点を話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一場面と第四場面のかげおくりの叙述を1枚のワークシートにまとめ、共通点や相違点を比べながら読めるようにする。</li> </ul>		
	7	物語を読む立場によって、感想が違うことに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第四場面の登場人物の心情と、読み手の心情を比べて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第四場面の「登場人物の気持ち」、「第四場面を読んだ、自分の気持ち」の2点を示して、それぞれ考えられるようにする。</li> </ul>		○
	8	第五場面の役割について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第五場面を読み、第四場面までと比べたり、第四場面にある似た表現を見つけたりして、第五場面の役割について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間の流れを表す「それから何十年」や、「きらきらわらう」という語句などを取り上げ、第五場面の役割について考えられるようにする。</li> </ul>		
3	9	物語の感想をキャッチコピーにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>読んで心に残った場面を中心に、物語の感想をキャッチコピーに表し、その根拠をキャッチコピーに込めた思いに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初発の感想や、書き溜めた感想を振り返り、心に残った場面を選べるようにする。</li> <li>語句のリストを活用し、自分の感想にふさわしい語句を選べるようにする。</li> </ul>		◎
	10	まとめた感想を交流し、感じ方やまとめ方の違いに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と感想を交流し、感じたことや気付いたことをまとめる。</li> <li>学びの足あとシートで単元全体の振り返りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>付箋を用いて気付いたことを「感じ方の違い」「まとめた感想のよさ」に分類できるようにする。</li> </ul>		